

## トポスパブリック「医療法人北島眼科クリニックー待合室」

2010年に発想され、2011年11月に軽井沢で初動した、まずは場所を考えるトポス企画展は、小布施町まちとしょテラソ、小布施町おぶせミュージアム・中島千波館 併設 木造館、池田満寿夫美術館エントランス・中庭、軽井沢春やカフェ、ギャラリー酒蔵、欧風家庭料理レストラン・アリコ・ルージュでのトポス高地の継続等々、5年の間様々な場の考察を経てまいりました。

今年2017年4月より、長野市にある医療法人北島眼科クリニック院長北島秀一氏のご理解、ご賛同を得て、視覚藝術作品を医療施設「待合室」にレンタル展示する、トポスパブリックを始動する運びとなりました。

作家と社会が互恵的に機能する、作品の有り様、環境を創出するこの企画は、従来の各位のポジショニングを、踏み改め、よりよい社会環境を構築する構造として、藝術による場所論を一步すすめたものとなります。

現代における視覚藝術作品は、クリティークとしては作り手からの論理が先行しがちであり、その作家性もエゴイスティックな指向、バイアスに染まり、故に社交性を閉じるという性格がまだ根強く、単にものをつくればよいという立場から、なかなか解放されない状況があります。かといって、クライアント依存症の構造にしか、作家は生活を支えることができないということも、作り手だけではない問題があり、言うならば状況を生きるそれぞれがそれぞれの役割として、状況変更の責を負い、相互互惠を具体的に享受しながら、更に「よりよい」成熟する仕組みに、各立場の現実性を加えて、其処に注ぐべきではないか。

軀の不具合、故障を修復するための、医療施設の待合室は、不安や痛み彩られており、恢復途上の患者の方々であっても、なかなか愉しめる空間ではありません。そうした社会的には精神的にマイナスへ倒れ掛かる場所にある、視覚藝術作品が、そうした不安や痛みを解消できるとは思いません。ただ、狼狽えて行方の定まらない視線を多少なりとも捉え、状況の外へ誘う、あるいは明日を指差すことはできるかもしれない。季節に照応して作品が入れ替わり、待合室の空気が変わること、そこに集うあらゆる立場の人々が、新しい印象を抱える。そういうことだけで、よいのかもしれない。毎朝家人の活ける食卓の花に幾度も癒されたと、どこかにあったことを憶いだします。

視覚藝術の役割を、その先端性から退いて、私たちが生きる現実の社会環境へ接続してみることで、作り手は勿論、元来は受け手ではない患者の方々にとっても、医療業務を施す先生、スタッフの方々にとっても、生きる背を静かに押す程度のことはできるかもしれません。

企画側は、当該企画のポリシーを真に理解し、すぐれた作品制作を行っている作家を選出交渉し、できるならば、類型の派生を考えていきたいと思えます。

文責・企画 町田哲也



医療法人北島眼科クリニック  
〒381-0042 長野県長野市稲田 3-13-1  
phone : 026-213-0205 / fax : 026-213-0206  
**医療法人 北島眼科クリニック**  
<http://kitajima-eye.com>

**TOPOS**  
<http://toposnet.com>

トポス企画責任 町田哲也  
クマサ計画 藝術と思想  
長野県上水内郡飯綱町川上 2755-950 〒389-1226  
phone & fax 026-405-7519 HP 080-5514-6063

トポスパブリック「医療法人北島眼科クリニック」に関して

2017年4月より、医療法人北島眼科クリニック待合室にて作品レンタル展示する「トポスパブリック」を始動します。当該医療クリニックと、訪れる患者の方々、視覚芸術作家作品との互恵的関係を構築し、社会的に機能する作品展開の環境創造を目的とするものとします。

診療医療業務に於いて、待合室で診察を待つ人々を視覚的に「癒す」仕掛けとして、現代作家作品を、三ヶ月毎に交代展示し、作品を紹介しつつ、当該施設の特徴のひとつと定着することを期待しています。

施設が所有する芸術作品の提示ではなく、施設環境を構築する責任の一旦が作品に与えられることで、現代藝術の具体的な社会的機能性が、ここで問われつつ成熟できれば、施設、患者、作家の、新しい関係性が生まれるでしょう。

トポスパブリック 規約 / 2017年4月より適用施行

- 1 選出された現代作家（平面作品に限る）による当該施設待合室（+他）での3ヶ月間に渡る作品レンタル展示（\*作品スタイル注参照）を、医療法人北島眼科クリニック「待合室」で行う。100x100cm以上の平面作品と小作品数点  
\*注：企画者、施設責任者、による作品精査により、不適切とされたものは展示しない。（他と交換あるいは事前画像精査あり）  
\*展示計画は少なくとも2ヶ月前に決定するものとする。
- 2 作品展示作家には、作品レンタル代金として¥50000-が支払われる。（展示終了後）
- 3 作品展示作家は、自主的な搬入出及びセッティングを、指定された日時にて理性的に行う。  
\*基本的に搬入出セッティングを作家本人が行うことを、作品展示可能基準と定め、作品郵送による委託展示はこの企画の趣旨外とする。
- 4 当該企画は、外へ開催を告知する性格のものではないので、DMなど事前展示開催告知はしない。  
\*トポス、及び当該施設オフィシャルサイトにて、アーカイブ掲載はされるものとする。
- 5 作家は展示作品詳細（作品タイトル・価格（販売する場合）・素材・他）、コメント（ステートメント）、キャリア（作家活動略歴）を、事前に企画側に提出するものとする。これは、施設配置配布用作家作品紹介リーフレット・オフィシャルサイト掲載などに、企画側が使用する。
- 6 記録撮影（動画含む）は、当該企画情報告知およびパンフレット制作の為、任意に行うが、開催作家はこれを了するものとする。
- 7 当該企画の年間パンフレットを事後的に制作し、アーカイブドキュメントとして企画側が発刊する。

トポスパブリック 企画側業務

- 1 作家作品選出とスケジューリング  
\*交渉・調整
- 2 搬入出セッティングサポート業務・現場サポート（作品精査含む）
- 3 展示内容詳細記載リーフレット制作（配置配布用：A4・PDF:DL用）
- 4 展示作品記録撮影（オフィシャルサイト・パンフレット用） \*申出があれば記録撮影画像を当該作家へ提供（但し現像済みのみ）
- 5 オフィシャルサイトアーカイブページ制作
- 6 作品概説（オフィシャルサイト個別ページ掲載）
- 8 フリーペーパー「分枝」（ブランディング）3/9,6/9,9/9,12/9 インフォメーション記載
- 9 トポスパブリックパンフレット制作



医療法人北島眼科クリニック  
〒381-0042 長野県長野市稲田 3-13-1  
phone : 026-213-0205 / fax : 026-213-0206  
**医療法人 北島眼科クリニック**  
<http://kitajima-eye.com>

**TOPOS**  
<http://toposnet.com>

トポス企画責任 町田哲也  
クマサ計画 藝術と思想  
長野県上水内郡飯綱町川上 2755-950 〒389-1226  
phone & fax 026-405-7519 HP 080-5514-6063